

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2004年3月3日

2004年2月29日現在：

2月のコロラド州の気温は、全州に於いて平年を多少下回った。降水は少なかったが、月末になり州東部では Snow storm がった。全州の積雪状態は94%が平年並みと報告された。

小麦の生育が始まるまでに更に降水が必要な状況である。

2月末の冬小麦の状況は、州東南部では Poor~Fair が多く、東北部では Good と報告された。

土壌水分：コロラド州農業統計局による2004年2月29日現在の報告は無い。

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)				
Subsoil (%)				

品種：2004年産冬小麦の作付面積は、230万エーカー（昨年：260万エーカー）であった。前年比88%の作付であった。

2004年産冬小麦品種の作付けトップは Arkon、続き Prairie Red、Tam 107、Jagger となっており、2003年より作付けの始まった新品種 Above は第5位の作付面積であった。トップ5品種の全作付面積に対する作付面積比率は、Arkon:19.8% (22.3)、Prairie Red:14.8% (14.8)、Tam 107:10.7% (10.7)、Jagger:8.9% (8.9%) そして Above:5.8% (7.7%) であった。括弧内は2003年の作付面積比率である。

Hard White 品種 Trego は2001年産より作付けが開始され、2003年産で3.3%、2004年産では5.7%（第6位）となった。

2004年1月付け農務省発表の作付面積、収穫面積、単位収量及び生産量：

2001年産～2003年産作付面積及び収穫面積

Crop	Area Planted (1,000 acres)			Area Harvested (1,000 acres)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Winter W.						
Colorado	2,350	2,350	2,600	2,000	1,650	2,200

2001～2003年産単位収量及び生産量

Crop	Yield bushels/acre			Production (1000 bushels)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Winter W.						
Colorado	33.0	22.0	35.0	66,000	36,300	77,000

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com